



黒島魂

「みがきあい(キラキラ)」

「ささえあい(ニコニコ)」

～しまごころ～

「わかいあい(ワクワク)」

音楽発表会に行ってきました！！

すっかり秋めいてきました。先月は合同運動会で「スポーツの秋」を満喫したところですが、今月は「芸術の秋」です。

11月15日（火）に、中学校音楽発表会に後期課程の4名が、そして、11月18日（金）には、小学校音楽発表会に、前期課程の11名が参加しました。場所は、いずれもアルカス SASEBO の大ホールです。

後期課程の生徒は、トーンチャイムによる「Edelweiss」と「いつくしみふかき」の合奏です。中学校の音楽発表会は、多くの学校が自校で合唱コンクールを行い、選出された学年・学級が代表となり、ステージに上がりますので、演目はすべて「合唱」です。ですから、各校が、自慢の歌声を披露する中、本校のみ、歌声ではなく、トーンチャイムのきれいな音色をホールに響かせたこととなります。トーンチャイムが奏でる独特の音色に、会場全体が引き込まれ、演奏が終わると客席からは、大きな拍手が沸き起こりました。

前期課程の児童は、トーンチャイムによる「きらきら星」の合奏と「私たち ぼくらの島」の合唱です。何とトップバッターという重責を担いました。スタートの緊張感が漂う中、後期課程の生徒同様、トーンチャイムのきれいな音色をホールに響きわたらせました。さらに、本校オリジナルの「私たち ぼくらの島」では、「ふるさと黒島」への思いのつまった歌声を披露し、会場から割れんばかりの拍手をいただきました。その拍手は、子供たちがステージから姿が見えなくなるまで続きました。

この音楽発表会への参加をとおして、後期課程生徒も前期課程児童も、大きく2つの学びがありました。

1つ目は、「表現すること」です。アルカス SASEBO という本格的なホールのステージに立つという経験はそうできるものではありません。加えて、学習の成果を表現し、賞賛の拍手を浴びたのです。子供たちの自己有用感、達成感はかなり高まったものと思われます。

2つ目は、「知ること」です。佐世保市内の学校の後期課程は半数、前期課程は4分の1が集まりました。普段15名で仲良く過ごしている子供たちにとって、大規模校から小規模校まで、様々な学校の児童生徒を目にすること自体が大きな経験です。さらに、同じ曲目の演奏がありましたが、学校によって表現の仕方が違います。また、同じ学校の児童生徒でも、歌声や体の動かし方は一人一人違います。この違いを知ることは、今の多様性の時代を生きる確かな力となります。

これらの学びを、今後の教育活動に生かし、子供たち一人一人にやがて訪れる「夢の実現15の春！」の具現化をめざします。

保護者の皆様には、送迎等お世話になりました。ありがとうございました。



小学校音楽発表会は、撮影が禁止でしたので、5番街でのリハーサルの様子を紹介します。